

ウェブサイトはこちら!

福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

2018年



月刊 いちえふ。

6月

INDEX

■ いちえふのいま

1号機燃料取り出しの
対応状況

■ 1Fを守る仲間たち

● 東電物流

福島支社のみなさん

■ 安全の心得【火気作業編①】

■ いこいの時間

まちがい探し

プレゼント

福島名産の
詰め合わせ

とびっくす



7月1日からの1週間は「全国安全週間」

厚生労働省が実施する「全国安全週間」。今年の
スローガンは「新たな視点でみつめる職場 創意と
工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」。

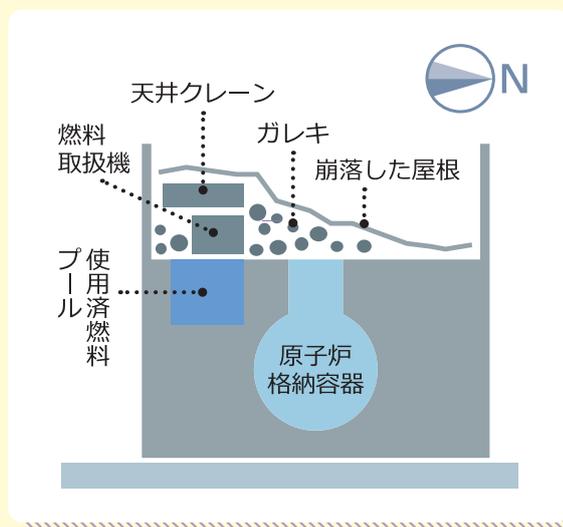
雨の日の運転には注意してください!

梅雨時は雨の中での運転が多くなります。雨だと
視界が悪く、制動距離も延びるので、速度を控え
めに早めのブレーキングを心がけましょう。

今年も開催!「ウルトラマンスタンプラリー」

福島にウルトラヒーローや怪獣が出現!
「大冒険! ウルトラマンARスタンプラリー
in ふくしま2018」が7/12から開催!

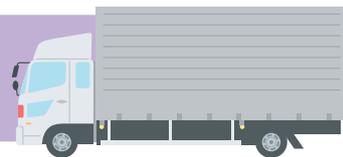
いちえふのいま



ガレキの状況

1号機燃料取り出しの
対応状況1号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けて、
オペレーティングフロア※上の北側からガレキ撤去作業
を進めています。使用済燃料プールがあるオペレーティ
ングフロア南側エリア周辺では崩落した屋根などのガレキ
が積み重なっており、作業に伴いプール内へガレキが
落下し燃料などを損傷させることがないよう、5月10日
にプールの保護などに向けた準備作業を開始しました。
今後、作業状況を監視するためのカメラなどを設置した
うえで、外周鉄骨(Xブレース)の撤去を実施する予定です。

※点検や燃料の交換などを行う原子炉建屋の最上階



工事に必要な資材や燃料を運び 1Fの^{はいろ}廃炉作業を支える

はいろ 廃炉作業に欠かせないさまざまな資材や、重機やトラックで使う燃料などを1Fに運んでいるのが、今回紹介する東電物流の方々です。広野町にある福島支社で働くみなさんにお話をうかがいました。

物流センターに送られてきた 物資を1Fに輸送する



—— ^{ぶんたん}どのように仕事を分担されているのですか。

齋藤さん：私たちの仕事は、福島支社内にある物流センターに送られてきた物資を1Fに輸送することです。私は、2017年7月に東京都大田区にある中央支社から支社長としてやってきました。

富岡さん：この福島支社には、社員が6人。^{いたく}委託の方を合わ

Message

私たちは飲料水の輸送もしています。水分を補給^{ねっちゅうしょう}して熱中症にならないように気をつけてください。



(写真左から)

とみおか かつし 富岡 勝利さん	まえしま りゅうた 前島 竜太さん	さいとう みつまさ 齋藤 光正さん
あさま ひでみつ 浅間 英光さん	しまざき まさお 島崎 正夫さん	きくはら ゆみこ 菊原 由美子さん



チームのみんなでバーベキューをして^{ふたん しんぱく}普段から親睦を深めている

せて全部で10人が働いています。私は資材課長兼安全担当^{たんどう}という^{かたがき}肩書で、1Fに入る人や車の入構業務をするほか、タンクローリーの運転もしています。

前島さん：1Fから、資材を運んでほしいという^{いらい}依頼が届いたときに、それに基づいて輸送の調整をしています。現在、私自身が1Fへの入構証^{しんせい}を申請しているところで、これが取れば、トラックを運転して1Fに入れるようになります。また、タンクローリーも運転できるよう、大型けん引免許^{めんきょ}と危険物免許^{めんきょ}を取る勉強をしています。

菊原さん：私も前島と同じく入構証^{しんせい}を申請しているところで、現在は主に事務全般や在庫管理の仕事をしています。フォークリフトや大型特殊^{とくしゆ}・けん引免許^{めんきょ}を持っているので、何かあればいつでもお手伝いができます。

島崎さん：作業責任者として、主にトラックで物資を1Fに輸送したり、トラックの管理をしています。前島と菊原の入構証^{しんせい}が取れたときには、2人の教育担当^{たんどう}となる予定です。

浅間さん：私は、タンクローリーを運転して1Fに燃料を輸送するのが主な仕事です。そのほかにも、4トンや10トントラックで荷物を運んでいます。

—— ^{しんさい}震災直後、資材の輸送は大変でしたか。

富岡さん：^{しんさい}震災の直後に、東京電力本店から食料や資材を

運ぶように指示されました。ところが、当時は福島に事務所もなく、私もそれまで福島に来たことがありませんでした。夜になると真っ暗で、ナビで道を選んでも津波や地震で道が崩れてしまったために、道が途中でいきなりなくなっているということもありました。

普段からのコミュニケーションが 無事故の記録を続けている秘訣



—— 無事故が長期間続いているとお聞きしました。

富岡さん：社内の8支社の中で最も長く、1070日間無事故が続いています（5月中旬の取材時点）。安全担当として言っていることは、「ここ物流センターから1Fに行って帰ってくるまでは緊張しろ。その代わりに、ここではのんびりしろ」ということです。社内に帰ってきたらのはのんびりする意識でいることが、無事故につながっているのかもしれない。ずっと張りつめたまましていると、心も体も疲れてしまい、それが事故につながる恐れがありますからね。

齋藤さん：私も同感です。ですから、社内では割とのんびりしてもらるように心がけており、休みの日にはみんなでよくバーベキューに行ったり、飲み会をしたりしています。コミュニケーションがうまくいけば仕事もうまく進むし、結果として無事故につながると思います。

前島さん：世代には広がりがありますが、コミュニケーションはとともうまくいっています。なんでも話せる関係で、みんな仲良く仕事をしています。



休日はバスケットボールをして汗を流す前島さん（後列左から4人目）



普段の筋トレを欠かさない富岡さん。ボディービルの大会に再び出場することを視野に入れている

菊原さん：みなさん、気持ちが若いのがいいですね。話しても元気で活発。何をやるにも、みんなで一緒にやろうという気になります。飲み会だけでなく、昼の休み時間にもソフトボールの練習をしたり縄跳びをしたりと、積極的に体を動かしています。

—— それ以外に気をつけていることはありますか。

島寄さん：東電物流の先輩から引き継いできた「安全確認呼称」というのがあります。例えば、信号を通過するとき、たとえ青信号であっても、心の中で「信号青よし」と確認します。交差点を通過するときには、「左よし、右よし」と言っています。

浅間さん：これは、今も口伝えて先輩から後輩に引き継がれているいい習慣だと思います。

つと お勤め先

東電物流株式会社

1977年に設立。震災直後の2011年7月に福島安定化流通センター（現福島支社）を設置し、1Fの安定化・廃炉に向けた物流にかかわっている。

- 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <https://1f-all.jp/interview/49/>

安全の心得

火気作業編 ①

火災防護の3原則 ① 可燃物の徹底排除



①必要以上の可燃物の持込禁止



②可燃物は不燃シートで覆う



③危険物取扱い作業との混在作業厳禁

いこいの時間

まちがい探し

今月はまちがい探しです。「霞ヶ城公園のアジサイ」の絵が2つ。とてもよく似た絵ですが、まちがいがいくつか隠れています。まちがいが何個あるかわかりますか？



応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 6月20日～7月10日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

福島名産の詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる場合がございます



1FOR ALL JAPAN
廃炉のいま、あした

ウェブサイトの紹介

<https://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2018年6月号

【発行日】2018年6月20日
【発行】
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
廃炉コミュニケーションセンター
コミュニケーション企画グループ
【お問い合わせ先】
Tel: (0240) 30-9301
(受付時間 / 平日午前9時～午後4時)
Mail: info@1f-all.jp